

### 重要な防災情報の意味を理解する

**雨の情報** 雨の降り方と気象予報について確認する

雨の強さの目安		周囲の状況
1時間雨量	10mm~20mm やや強い雨	地面一面に水たまりができる。
20mm~30mm	強い雨	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。歩道や下水、小さな川があふれる。小規模の崖崩れが始まる。
30mm~50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようなになる。下水管から雨水が溢れる。
50mm~80mm	非常に激しい雨	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険。マンホールから水が噴出する。
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。マンホールから水が噴出する。雨による大規模な災害が発生するおそれが高い。

**大雨注意報・大雨警報**  
大雨により浸水被害や土砂災害が発生するおそれがあると予想されるときに気象庁から発表されます。特に土砂災害は雨がやんで危険が残ることがあるため、しばらくは警報等の発表が継続されることがあります。

**洪水注意報・洪水警報**  
大雨や長時間により河川が増水し、河川の氾濫や堤防の損壊・決壊など重大な災害が発生するおそれがあると予想されるときに気象庁から発表されます。

**府中市に大雨注意報**  
1時間に30mmの降雨が予想される場合

**府中市に大雨警報**  
1時間に70mmの降雨が予想される場合

**府中市に記録的短時間大雨情報**  
1時間に100mmの降雨が予想される場合

### 水位の情報 洪水に関する情報を確認する

**指定河川洪水予報**  
多摩川は気象庁と国土交通省が洪水予報を共同発表する河川に指定されています。洪水予報は避難を判断する一つの目安となります。  
**氾濫危険情報**と**氾濫発生情報**については国から市内の携帯電話に緊急速報メールで配信されます。

**多摩川の水位の情報**  
洪水予報河川には、消防署や消防団が活動を開始したり避難勧告等を発令する基準となる水位が定められています。なお、府中市は異市市もある石原水位観測所の水位を基準として警戒活動にあっています。

**府中市が発令する避難情報**  
避難勧告等の情報は、河川の水位や気象状況などを総合的に判断して市が発令します。同じような状況であっても発令されたり発令されなかったりすることがあります。身の危険を感じたら、避難勧告等の発令を待たず早めに避難も必要です。

**氾濫発生情報**  
既に災害が発生してもおかしくない極めて危険な状況です。未だ避難していない人は直ちに指定緊急避難場所へ避難してください。

**氾濫危険情報**  
氾濫が発生する可能性が高いと判断される水位。

**氾濫警戒情報**  
避難勧告などの発令の目安となる水位。

**氾濫注意情報**  
川の氾濫に対する注意を喚起する水位。消防団が活動する目安となる水位。

**警戒の水位**  
府中市が発令するこれらの避難情報は、防災行政無線やテレビのデジタル放送で確認することができます。

**避難指示(緊急)**  
既に災害が発生してもおかしくない極めて危険な状況です。未だ避難していない人は直ちに指定緊急避難場所へ避難してください。

**避難勧告**  
災害が発生が予想される危険な状況です。指定緊急避難場所へ速やかに立ち退き避難を開始してください。立ち退き避難を行うことがかえって危険な状況であると判断した場合は近隣の高地など安全な場所や屋内安全確保を行ってください。

**避難準備・高齢者等避難開始**  
空振りの可能性は高いが要配慮者の安全な避難確保のため発令を躊躇いたしません。避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は立ち退き避難を開始してください。その他の人は立ち退き避難のための準備を開始することが望ましい。

**避難準備・高齢者等避難開始**  
府中市が発令するこれらの避難情報は、防災行政無線やテレビのデジタル放送で確認することができます。

### 避難行動の基本原則を理解する

**安全確保は浸水前の早めの避難!**  
避難勧告などが発令されたら、浸水や降雨がなくても早めの避難を決定してください。府中市に雨が降っていても、多摩川の上流で大雨が降ったためにも急激に増水することがあります。

**浸水してしまった状況での避難は大変危険!**  
※浸水した水は泥水のため、足元が見えず大変危険です。また、汚水や工場排水などが混ざっている可能性があるので、健康に悪影響を及ぼす危険があります。

**万一避難が遅れてしまったら屋内安全確保!**  
※逃げ遅れた場合の最終手段として、建物や堅牢かつ上層階に避難できる場合のみに限ります。絶対に安全が確保できる避難方法はありません。

### 立ち退き避難 誰も避難していないからまだ大丈夫と思わない

**1 避難先・避難ルートを確認する**  
近隣の高地や指定緊急避難場所までの安全な避難ルートを平時のうちに確認しておきましょう。避難先は市の指定緊急避難場所以外にも親戚や知人宅、職場など複数の場所を考えておきます。

**2 避難方法を確認する**  
車での避難は緊急自動車や交通の妨げや交通渋滞に巻き込まれて逃げ遅れる危険があります。病人や要配慮者などを避難させる特別な場合を除いて車での避難は避けましょう。

**3 早めの避難を心がける**  
夜間や浸水してからの立ち退き避難は極めて危険です。テレビなどで防災情報を確認しながら、身の危険を感じたら避難勧告などの発令を待たずに自主避難を開始してください。

**4 避難の際は近所にひと声をかけて**  
単独行動は避け、近所に高齢者など避難行動に時間のかかる要配慮者がいる場合は、声をかけて一緒に避難しましょう。

**5 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意**  
長靴は水の中で足を取られて危険です。運動靴を履きましょう。  
水中を歩ける際の目安は膝下50cmまで。流れが早い場合は浅くても危険!

傘や長い棒を杖にして、水の中の障害物を確認しながら注意して歩きましょう。  
マンホールのふたが外れていることに気が付かず、転落する危険があります。

切れた電線など危険が感じられる場所には絶対に近づかない。

### 災害に関する情報を入手する

**インターネット** パソコン・スマートフォンなどで確認する

**気象庁ホームページ**  
最新の気象情報や今後の推移などが確認できます。  
URL: <http://www.jma.go.jp/warn/>  
URL: <http://www.jma.go.jp/highresrad/>  
URL: <http://www.jma.go.jp/jp/flood/>  
URL: <http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

**国土交通省「川の防災情報」ホームページ**  
全国の水位や雨量、洪水予報などが確認できます。  
URL: <http://www.river.go.jp/>

**国土交通省 京浜河川事務所ホームページ**  
多摩川の水位・雨量やライブ映像が公開されています。  
URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

**府中市ホームページ**  
大規模な災害発生時には、災害時用トップページに切り替わります。  
URL: <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

**メール配信** 事前に登録が必要なものや強制的に配信されるものがあります。

**府中市メール配信サービス**  
事前に登録いただいたメールアドレスに災害情報や緊急情報などを配信します。  
登録方法: [f-fuchu@sg.m.jp](mailto:f-fuchu@sg.m.jp) に空メールを送信し、返信メールに表示されたURLにアクセスして登録します。

**府中市ツイッター**  
水害等の緊急時における情報や市のPR情報などを、ツイッター(簡易投稿サイト)で発信します。  
ツイッターのアカウントは「東京都府中市」、ユーザー名は「fuchu\_tokyo」です。

**緊急速報メール・エリアメール**  
事前登録は不要で、市内に在住の方のNTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話、スマートフォンに、**氾濫危険情報**や**氾濫発生情報**など一部の災害情報が一斉配信されます。

### テレビ 天気予報や防災情報をデジタル放送で確認する

**デジタル放送**  
降雨状況や警報などの発表状況、府中市が発令した避難勧告等の避難情報を文字情報として確認することができます。

**ワンセグの場合**  
携帯電話・スマートフォンでワンセグデータ放送を受信する場合は、ワンセグの表示画面を縦にするとデータ放送が表示されます。

**リモコンのdボタンを押す**  
データ放送画面が表示されます。

**情報発信**  
都道府県・市町村  
中央官庁  
ライフライン事業者

**情報伝達**  
テレビ・ラジオ事業者  
インターネット・携帯電話事業者  
その他のサービス事業者

**アラートによる情報の集約・発表**  
「アラート(災害情報共有システム)」は、自治体が発令する避難情報などを集約して、テレビやラジオ、インターネットなどで一斉に伝達するシステムです。

### 防災行政無線 避難勧告などの避難情報は防災行政無線で呼びかけます。

防災行政無線で放送した内容は次の電話番号におかけいただく録音再生を確認することができます。風雨による騒音や窓が割れている、音声を確認できなかった場合はこちらをご利用ください。

**0800-8000-606 (フリーダイヤル)**  
※災害が発生していない場合は音声は録音されておられません。

### 浸水継続時間マップ

この地図は、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、荒川、大淵川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)」を基に、台風や大雨によって引き起こされる多摩川の氾濫による浸水を想定し、その浸水継続時間を示したものです。

浸水想定区域(浸水継続時間)とは…  
想定最大規模降雨(多摩川流域の48時間総雨量588mm)により、多摩川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域の浸水継続時間を示したものです。  
作成主体: 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所  
指定年月日: 平成28年5月30日

**浸水継続時間凡例**

- 12時間の区域
- 24時間(1日間)の区域
- 72時間(3日間)の区域

**凡例**

- 指定緊急避難場所(内水氾濫)
- 防災行政無線
- 緊急避難利用施設
- 地下埋設管路(アンダーパス)
- 急傾斜地崩壊危険箇所区域
- 府中事務所
- 警察署
- 交番・駐在所
- 消防署・消防出動所
- 防災センター(防災訓練所)

**地図をご覧ください際の注意!**  
地図上に示した浸水の想定は、任意の想定に基づいたシミュレーションの結果であり、土地の危険性を示すものではありません。また、浸水の想定は、避難の安全性を確保するものではありません。地図上に示した浸水の想定は、状況によっては浸水する可能性があるため、浸水の想定は、避難の安全性を確保するものではありません。また、浸水の想定は、避難の安全性を確保するものではありません。

**外水氾濫とは(多摩川の洪水)**  
大雨が降り、河川に流れ込んだ雨水が水位を上昇させることで、堤防を越えたり堤防の決壊を引き起こすことを外水氾濫といえます。外水氾濫は、大量の水が速い速度で市街地へ一気に流れ込み、わずかな時間で住宅などへ浸水するため、甚大な被害が発生します。また、流れ込んでくる水は泥水のため、洪水がおさまった後も土砂や汚泥が堆積してしまい、復旧に時間がかかるといわれています。

### 浸水被害の軽減 浸水前にできるだけ対策をしよう

**1 家屋への浸水を軽減する** 家庭にあるものを使って家屋への浸水を防ぐ方法を紹介します。浸水が浅い場合に有効です。玄関などへの出入り口や床下への浸水防止も必要です。

**ポリ袋で簡易水のう** ポリ袋を2重にして中に水を入れて、段ボール箱などに入れて浸水を防ぎます。

**ポリタンクとレジャーシート** ポリタンクに水を入れ、レジャーシートを巻き込みます。

**プリンターとレジャーシート** プリンターをレジャーシートに入れて巻き込みます。

**止水板** 出入り口を長めの板で塞ぎ、浸水を防ぎます。

**◆思わぬ場所からの浸水を防ぐ**  
下水が逆流してトイレから汚水が噴き出すことがあります。水を入れたビニール袋を重しにして押さえるなどの対策をしましょう。  
床下収納のふたが開いて水が噴き出す場合があります。重しをして浸水を防ぎます。  
下水の逆流防止のため、お風呂の水は貯めておきましょう。

### 2 家財の被害を軽減する

水没した家財は、使用できなくなるため処分するほかなくなります。出来る限り家財の被害軽減を図りましょう。

貴重品や重要書類は、浸水でも移動可能な場所に移動しましょう。  
移動可能な家電製品は高い場所へ移動しましょう。  
自動車は早めに浸水を免れる場所へ移動しましょう。  
アルバムなど思い出しの品も持ち出せる場合は移動しましょう。

### 3 水道・電気・ガス・トイレなどライフラインの停止に備える

ライフラインの停止が長期に及ぶ可能性があります。ライフラインが復旧するまでの数日間、飲料水や食料などの備蓄を行いましょう。

備蓄の一部は浸水でも移動可能な場所に移動しましょう。  
数日分の備蓄として、衣類を持ち出しておきましょう。

### 指定緊急避難場所(学校の校庭)

学校名	所在地	学校名	所在地	学校名	所在地
府中第一小学校	寿町 2-6	府中第二小学校	若松町 4-29	府中第二中学校	紅葉丘 1-23
府中第二小学校	緑町 1-29	武蔵台小学校	武蔵台 2-3	府中第四中学校	美好町 2-13
府中第三小学校	白糸台 1-58	新町小学校	新町 1-25	府中第五中学校	新町 2-44
府中第五小学校	本宿町 1-51	本宿小学校	本宿町 4-19	府中第七中学校	武蔵台 2-4
府中第六小学校	天神町 4-14	白糸台小学校	白糸台 2-16	府中第十中学校	西野町 4-21
府中第七小学校	北山町 2-23	若松小学校	若松町 3-11	浅間中学校	浅間町 1-1
府中第九小学校	栄町 3-7	府中第一中学校	幸町 1-22		

### 内水氾濫マップ

この地図は、北多摩一号処理区、北多摩二号処理区浸水想定区域図と野川、仙川、谷川及び丸子川流域浸水想定区域図をもとに、大雨が降った場合に浸水が想定される区域と想定される最大水深を示したものです。

浸水想定区域とは…  
この地域の浸水想定区域は、河川が増水したときに、下水道が河川に到達する直前の地盤の低い土地の浸水や、下水道の処理能力を超えて降る雨によって浸水する範囲です。想定した雨量は平成12年9月に発生した東海豪雨(総雨量589mm、時間最大雨量114mm)です。

**北多摩一号処理区、北多摩二号処理区浸水想定区域**  
(1)作成主体 東京都下水道局流域下水道本部  
(2)作成年月日 平成24年8月20日  
※北多摩一号処理区 北多摩一号水再生センター(小規模7日先に流れ込む下水道の範囲)  
※北多摩二号処理区 北多摩二号水再生センター(国立市1-24-32に流れ込む下水道の範囲)

**野川流域浸水想定区域**  
北多摩一号処理区  
野川、仙川、谷川及び丸子川流域浸水想定区域図  
(1)作成主体 東京都都市水害対策連絡会  
(2)作成年月日 平成17年6月9日

**内水氾濫とは**  
河川の水を「外水」と呼ぶのに対し、堤防で守られた内側の土地にある水を「内水」と呼びます。大雨が降り、下水道の排水能力が雨に追いつけなかったり、河川の水位が上昇して排水できなかったりすると、低い土地で建物や道路などが水につかまってしまう。これを「内水氾濫」といいます。

**浸水深の色の凡例**

- 浸水深が2.0m以上の区域
- 浸水深が1.0~2.0mの区域
- 浸水深が0.5~1.0mの区域
- 浸水深が0.2~0.5mの区域

**浸水深の色の見方**  
浸水深 水深の目安

- 2.0m 1階の軒下までつかる程度
- 1.0m 1階の床までつかる程度
- 0.5m 1階の床下までつかる程度
- 0.2m

**凡例**

- 指定緊急避難場所(内水氾濫)
- 防災行政無線
- 緊急避難利用施設
- 地下埋設管路(アンダーパス)
- 急傾斜地崩壊危険箇所区域
- 府中事務所
- 警察署
- 交番・駐在所
- 消防署・消防出動所
- 防災センター(防災訓練所)

**地図をご覧ください際の注意!**  
地図上に示した浸水の想定は、任意の想定に基づいたシミュレーションの結果であり、土地の危険性を示すものではありません。また、浸水の想定は、避難の安全性を確保するものではありません。地図上に示した浸水の想定は、状況によっては浸水する可能性があるため、浸水の想定は、避難の安全性を確保するものではありません。